

## 最新の情報入手しよう

台風の接近や大雨は天気予報で事前に確認できることが多いです。また、避難情報や避難場所の開設状況などの最新の情報入手して、その後の行動につなげましょう。

### 横浜市防災情報ポータル

横浜市内に出されている避難情報、避難場所の開設状況等を確認できます。

横浜市防災情報ポータル

検索



### 港南区 安全・安心情報メール

事前に登録すると気象警報や避難情報など緊急なお知らせが届きます。

港南区 安全・安心情報メール

検索



### Yahoo! 防災速報

アプリで登録すると、横浜市からの防災緊急情報が届きます。

Yahoo! 防災速報

検索



他にもテレビやラジオなどのツールを利用して情報を入手しましょう。情報を入手したら、家族や周りの人に教えてあげよう。

## 的確な避難行動をとろう

最新の情報をもとに、周りの状況に応じて適切に行動しましょう。ハザードマップなどを活用して、安全な避難経路を把握しておくことが重要です。危険を感じた場合は、避難情報の発令を待たず、地域で声を掛け合うなどして速やかに避難を開始しましょう。

また、感染症対策として、3密を避けるためにも、近隣の親戚や知人宅を避難先として検討しておくことも重要です。日頃から、いざというときに助け合えるような関係づくりをしておきましょう。

### 水平避難



安全な場所へ避難  
(避難場所、親戚の家など)

### 垂直避難



丈夫な建物の2階以上、  
または近隣の高い建物へ避難

### 屋内避難

(斜面と反対側)



建物内の安全な場所へ避難  
(斜面など危険な場所の反対側の2階以上)

余裕をもって避難できる場合

避難する余裕がない場合

## 避難時に気を付けること



### ① 長い棒などで足元を確認

蓋が外れたマンホールや段差など見えない危険があるかもしれません。

### ② 靴は脱げにくい運動靴など

長靴は中に水が入ってしまうと重くなり動きづらくなる可能性があります。



### ③ 避難の前に外の状況確認

道路冠水が始まっているなど外に出るのが危険な場合は無理に避難場所に行かず「垂直避難」「屋内避難」をしましょう。

### ④ タオルや着替えも忘れずに

大雨で、避難場所に着いた時にはびしょ濡れになっていることもあります。

### ⑤ 感染症対策を忘れずに

避難場所には体温測定をしてから、マスクを着用して向かいましょう。

### ⑥ 食料や物資を用意しておこう

風水害時は食料や水は自分で用意することが原則です。非常時の持出品を事前に準備しましょう。

